

サマスタ

SUMMER STUDIO

2018

7.14(土)

▽

8.25(土)

幅広い分野の
学生を募集中!

造園・建築・都市
計画・土木・観光
健康・体育・社会
経済・経営・教育
など

を 聖
提 火
案 台
す 広
る 場

2018年テーマ

公益社団法人 日本造園学会関東支部

第14回 学生デザインワークショップ

サマースタジオ2018

SUMMER STUDIO 2018

オリンピック・パラリンピック本番まで2年。準備が進んでいる会場設備の中で、唯一概要が公表されていない聖火台について提案を行う。オリンピック・パラリンピックをきっかけに、多くの人が集まり交流する、都市における Plaza (広場) の意味を考え、社会に発信する機会とする。また、大会後の運用や社会的意味についても提案の中に入れていく。

計画条件

- 1) アムステルダム (1928) 大会の際、スタジアムの外に塔を設置して始まった聖火台の歴史と「パラリンピック聖火は皆のもの」という精神に則り、聖火台は誰もが目に触れることができる広場に設置する。
- 2) オリンピック・パラリンピック期間中は、表彰式やインフォメーションセンターなど多くの観覧者や観光客を受け入れるゲートウェイとしての場所となり、期間終了後もオリンピックの精神である世界平和の象徴として、多くの人に愛される祝祭広場とする。
- 3) オリンピズムの精神と江戸・東京の歴史に通じる、新しい歴史を刻む場所としてふさわしい広場とする。

設計条件

- 1) 大会会場が集中しているヘリテージゾーン・東京ベイゾーンを範囲の目安とし、具体的に敷地を選定する。
- 2) 1万人程度の観客を収容できる規模 (2 ha 程度が目安) とする。必ずしも 2 ha のまとまったフラットな平面的広がり確保できる場所でもなくとも提案が可能である。上記計画条件を踏まえ、選定した敷地の地形・植生・水系・交通・周辺建物など現況を十分に活かした広場とする。
- 3) 聖火台はモニュメントに限定せず、「オリンピック・パラリンピックの象徴」として独自の考えを示す。

目的

幅広い分野の知見を集め、理念を具体的な都市改善の動きにつなげる実践的な提案を行う。提案をまとめるプロセスにおいて、様々な分野 (造園・建築・都市計画・土木・観光・健康・体育・社会・経済・経営・教育など) の学生が分野の枠を超えた議論を通じ、社会に対し新たな可能性を持つ提案を発信する。学生は社会人チューター (計画・設計実務者) と共に課題に取り組む。また、期中では様々な専門家 (教育、行政、計画・設計実務者など) からも指導・助言を頂く。上記の活動により、社会課題に対し幅広い視野を持って取り組み、社会に対し説得力のある提案を行うことのできる将来を担う人材育成の一助とする。

対象地

2020年東京オリンピック・パラリンピック 大会会場が集中している ヘリテージゾーン・東京ベイゾーンの 範囲を提案場所の目安とする

スケジュール

7/14 (土)	#1 ミーティング (会場: 法政大学市ヶ谷田町校舎)
提話 供題	嵯峨寿 日本オリンピック・アカデミー (JOA) 理事、日本オリンピック委員会 (JOC) オリンピック・ムーブメント専門部会員 田中伸彦 東海大学観光学部観光学科 教授
~ 7/27	ワーク1: プレサerve
7/28 (土)	#2 ミーティング (会場: 法政大学市ヶ谷田町校舎)
提話 供題	岩佐明彦 法政大学デザイン工学部建築学科 教授
~ 8/10	ワーク2: 設計検討1
8/11 (土)	#3 ミーティング 中間発表 (会場: 東京農業大学世田谷キャンパス)
クリティック	渡邊竜一 ネイ&パートナーズジャパン 代表取締役 大野暁彦 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 専任講師 岩瀬諒子 名古屋市立大学大学院 芸術工学研究科 講師 株式会社 エスエフジー・ランドスケープアーキテクト 代表取締役
~ 8/17	ワーク3: 設計検討2 (コアウィーク)
8/18 (土) ~ 8/24	#4 ミーティング (会場: 東京農業大学世田谷キャンパス) ワーク4: 提案まとめ
8/25 (土)	#5 ミーティング 最終発表・審査 (会場: 市ヶ谷田町校舎)
12/15	関東支部大会にて発表

※ワーク1~4の作業は、各チームチューター指導の下、チームメンバーの予定を揃わせて行う

運営

チーム編成	5人程度/グループ、4~5グループ程度を編成予定。 様々な専攻分野の学生メンバーによるチームワークを通じた創造的な共創の実現を目指す。
チューター制度	ランドスケープ計画・設計実務者を中心に、学生の指導・助言を行う。チューターは各グループに2人付く予定。期中に様々な専門家の方にも指導・助言を頂く。

応募方法

6/29 (金) 学生レポート締切 (チューター締切)

応募資格・条件	大学 学部生・大学院生・研究生 (学校・学部・学年・居住地域は問わない) #1~5のミーティング・支部大会に出席、及びワーク1~4の議論や検討作業に参加できる学生。(ワーク1~4は期間中毎日拘束されるわけではなく、チーム内で集まる日やメンバーでの作業分担を決める。)
応募方法 レポートを提出	下記レポートを PDF データに変換し、Eメールにて担当事務局に送付。(形式自由) 1) 学校・学部・学年・氏名・Eメールアドレス (PC用が望ましい) 2) 以下に対する意見レポートを添付 (a:500字程度 b:200字程度) a. 今回のテーマに対する候補地 (複数可) と、そこを選んだ理由。 候補地をどのように活用したらよいか、そのアイデア。 b. 学生デザインワークショップへの参加動機 3) 各自の得意分野・興味ある分野のアピール (自由になるべく多く書く) ex) プレゼン資料作成スキル (手書きスケッチのスキル、CAD・フォトショップ・イラストレーターなどのソフトを使いこなすスキル)、コンセプトやストーリー立案スキル、ワークショップでのファシリテーション能力、植物、生態学、観光、スポーツ、オリンピズム など
参加費	3,000円 (#1ミーティングで集めます)
問合せ 申込先	株式会社 竹中工務店 向山雅之 (関東支部運営委員) E-mail ss2018.jila.kanto@gmail.com ※チューター応募方法は下記造園学会関東支部HPをご覧ください http://www.kanto.jila-zouen.org/designws/designws-index.htm